

13 事業承継

基本情報



【年 齢】
45歳
【出身地】
大阪府豊中市
【転出元】
東京都江戸川区
【前 職】
携帯通信会社の子会社に
て物流管理
【活動時期】
R2.10～R6.3（予定）

協力隊に応募したきっかけ

社会に貢献できる仕事への転職を検討し、転職サイト等で探していたところ、地域おこし協力隊制度を知ったため。募集していた湧別町の場所が魅力的に感じたため。

今後の抱負・任期後の目標

まずは事業継承したエゾシカ肉の加工事業所を継続的に運営できるよう安定経営を目指したい。また、精肉を中心とした商品しか展開できていないため、町内の道の駅やお土産品として展開できるように加工済み商品などの開発、販売も目指したいと考えている。

将来的には、有害鳥獣対策や木育、自然体験、環境保全など自然との共生やその持続可能性をテーマとした包括的な事業に発展させ、湧別町を代表する企業に成長させていきたい。

活動内容

本隊員は当初雇用型協力隊員として水産林務課にて森林管理や有害鳥獣対策、町有林の木材を活用した木育活動に従事していたが、町内で唯一エゾシカの食肉加工を行っている事業所を継承するため、令和5年度より委託型協力隊に移行し、ジビエの普及のために活躍している。



ハンターが捕獲したエゾシカを受け入れ、食肉化し精肉として販売している。鹿肉はふるさと納税の返礼品としても取り扱っており、人気ランキング上位に入るなど高い評価を得ている。

また、鹿肉の普及促進のみにとどまらず、解体作業の見学や鹿皮の利活用として加工体験ツアーも開催している。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））tabuchi.ezoshika@gmail.com
（電話番号（個人））080-3477-1589

基本情報



【年 齢】
26歳
【出身地】
浦河町
【転出元】
北海道札幌市
【前 職】
学生
【活動時期】
R5.4～R8.3（1年目）

協力隊に応募したきっかけ

大学時代にアイヌ文化を学び始め、学んでいく中で木彫りに興味を持ち、タイミングよく「アイヌ民族文化財団」の伝承者育成事業の誘いを受け3年間技術を高めました。転職となったのは地元研修に行った際に、講師の方から祖父が昔民芸店を営んでいたという話を聞き、運命的なものを感じました。木彫家として生活していきたいと考えているときに、平取町でアイヌ工芸を担っていくための木彫りに挑戦できることを知り、応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

販売ルートを確認し、評価してくれるお客さんを増やしていけるように努力していくこと、アイヌ工芸品コンテストで一番いい賞を取ることを目標に頑張っていきたいと思えます。将来的には祖父のお店の名前である「フシコ民芸」（フシコとは「古い」を意味するアイヌ語）の名前を受け継ぎ、伝統的なものを大切にしながら新たな自分自身を表現できるような作品を生み出したいです。

活動内容

●二風谷イタの製作

二風谷イタは木製の平たい形状のお盆で、その上に伝統的なアイヌ文様を施していくものです。埼玉県大宮市の物産展にイタを2枚出品しました。そのイタは2枚とも買っていただけました。また、アイヌ工芸品コンテストでは鹿角を用いたマキリ（小刀）を出展し、奨励賞をいただきました。



●アイヌ文化のブランド化推進事業との連携

平取町の「アイヌ文化のブランド化推進事業」と連携し、富山県高岡市の株式会社能作で視察研修を行いました。企業の運営やコラボレーションの手法を学びました。



●日本一の群生地！すずらんツーリズム推進事業との連携

一般社団法人平取町観光協会の「日本一の群生地！すずらんツーリズム推進事業」と連携し、日ごろ平取町アイヌ工芸伝承館（愛称：ウレシバ）で学んでいる技術を活かしながら、木彫り体験の講師として協力していく予定です。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））fluffy.zz2528@gmail.com
（電話番号（個人））080-1861-1462

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

基本情報



【年 齢】
39歳
【出身地】
茨城県北茨城市
【転出元】
東京都調布市
【前 職】
会社員
【活動時期】
R3.4.1～ R6.3.31

協力隊に応募したきっかけ

生まれ育った茨城県で、今まで培った建築の知識・技術を生かしながら地域貢献したいとの思いと、建物を建てる最前線で働きたいとの思いから稲敷市の地域おこし協力隊(建築大工育成支援事業)に応募した。

今後の抱負・任期後の目標

木造住宅の設計、大工作業の知識・技術を習得して工務店を引き継ぎ、お客様に寄り添いながら設計と工事のどちらにも重きを置いて、一貫した仕事をする事でいい家を提供できる工務店にすること。

活動内容

●大工仕事

協力隊となってからの約2年半で平屋や2階建て住宅、寮や床屋の新築に携わり、道具の使い方や木造建物を建てる工程や手順が身についた。

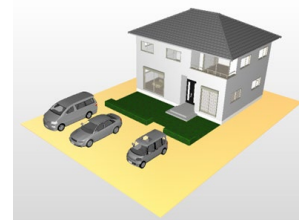
また、修繕工事は住宅だけでなく、神社やお寺などの高い技術が要求される案件に関わり、腕を磨いた。



●設計

基本的な大工仕事が身についてきたこともあり、設計にも携わった。施主との打ち合わせで要望を確認し、敷地の条件や予算、家族構成等を考慮しながら間取りを考え、図面や三次元パースを用いながら最終的な設計案をまとめることができるようになった。

また、建築確認申請の手続きや工事記録の作成、完了検査対応も実施し経験を積んだ。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) tanino.inashikicooperator@gmail.com
(電話番号) 080-3209-5588

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

<https://www.facebook.com/profile.php?id=100050400967149>

基本情報



【年 齢】
25歳
【出身地】
兵庫県神戸市
【転出元】
兵庫県神戸市
【前 職】
学生
【活動時期】
R3.4～R6.3

協力隊に応募したきっかけ

田舎で暮らしながら、木工を仕事にしたいと思い就職活動をしていた時に、地域おこし協力隊という新たな選択肢を知りました。

日本の伝統的な木工技術継承として、七宗町が募集していたのでそこに応募したことがきっかけです。

今後の抱負・任期後の目標

木工の知識や技術を取得し、独立を目標に頑張っていきます。また、七宗町の住民がより良く過ごしていくためや、町外の人を呼び入れるための町づくりをしていきたいと思っています。

活動内容

● 建具製作

町内の木工事業所を拠点として活動をしています。木工の技術を学びながら仕事をしていく上で、今まで出来なかったことが出来るようになることにやりがいを感じます。



● 地域との関わり

地域との関わりも大事にしていることの1つです。消防団などの地域の集まりには積極的に参加しています。

生活する上で自分の存在を認識していただける人が増え、気軽に声をかけてくださった時は嬉しかったです。



● 町のPR活動への参加

町が行うイベントなどにも参加しています。今年の10月にも町のPRの為に活動拠点の端材を利用したキーホルダー作りのワークショップを行いました。

町の発展に自分も携わることができることには大きなやりがいを感じます。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス(個人or職場)) tsukasa.g.12@gmail.com
(電話番号(個人or職場)) 090-7553-8968

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
特になし

基本情報



【年 齢】
32歳
【出身地】
大阪府箕面市
【転出元】
大阪府箕面市
【前 職】
会社員
【活動時期】
R4.4～R7.3

協力隊に応募したきっかけ

子どもの頃からものづくりに興味があったことや、豊岡市城崎町へ旅行した際に出会った「麦わら細工」の魅力に引き込まれたことをきっかけに、大阪から城崎へ通いながら麦わら細工について学んでいました。

通いながら技術だけでなく歴史や文化、城崎の暮らしに触れ「城崎で麦わら細工をやっていきたい。本格的に学びたい」という思いが強くなっていたところ、豊岡市が「麦わら細工」の技術継承の地域おこし協力隊を募集すると聞いて応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

作業療法士の資格を持っていることから、麦わら細工職人との両立を図りつつ、将来的には「城崎で自分の麦わら細工のお店を持つ」ことができるように日々頑張っています。何年かかるかわかりませんが、今は師匠の元で学び、技術を磨き、麦わら細工の歴史を繋いでいきたいです。

活動内容

●麦わら細工の製作

麦わら細工は、江戸時代から続く城崎の伝統工芸です。乾燥させた大麦の節を切り、ストロー状の茎を染色して割り開き、桐箱などに張り詰め、花鳥や幾何学模様を描きます。ごはんを練った糊や日本剃刀など昔ながらの道具を使い、すべて手作業で製作します。大麦のわらでつくられる細工は、絹のように滑らかな手触りと上質なツヤが特徴的です。

麦わらは、紙と違って繊維の方向によって思うように切るのが難しいところがあります。直線的な模様でも下書きに沿ってぴったりに切るのは難しく、曲線を切り出すことはさらに繊細な技術を要します。

また麦わらの特徴として、同じ色でも繊維の方向を変えて張ると色の見え方が変わります。その特徴を活かした模様は唯一無二の魅力だと思っています。



●「麦わら細工」の体験指導

主に城崎温泉を訪れる観光客向けに、麦わら細工のしおりや小物入れなどの製作体験の指導も行っています。城崎温泉は、国内だけでなく海外からも多くの観光客が訪れる温泉街で、“旅の思い出”を作ることができる麦わら細工の製作体験は人気があります。

外国人の方にもしっかりと指導できるように、英語の勉強などにも励んでいます。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) straw.kinosaki@mugi-fuku.com(個人)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram : tomk4737



基本情報



【年 齢】
35歳
【出身地】
愛知県豊橋市
【転出元】
愛知県豊橋市
【前 職】
ガソリンスタンド社員
【活動時期】
2022年10月～

協力隊に応募したきっかけ

小さい頃から田舎暮らしに憧れがあり、昨年前職を退職し、転職活動の際に、自然を感じられる仕事に就くか、自然を感じられる地域に移住したいと考えており、地域おこし協力隊の募集内容が前職と同じであり、役に立ちたい一心で応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

とにかく住民の方に一人でも多く顔を覚えて貰う事、今後村民や一般客の方によりよいサービスを提供して、多くの住民の方やお客様に愛されるお店作りを目指していきます。

活動内容

●ガソリンスタンド運営

村内唯一のガソリンスタンドの後継者候補として、燃料、ガス、米の配達や集金、事務業務等、ガソリンスタンドの運営全般の業務に従事しています。



役場に隣接する村内唯一のガソリンスタンド(住民生活のライフラインを担う重要施設となっている)

●「お買い物バス」運転手

村民の方でお買い物に行くのが困難な方のために昨年度から村が運行を始めた「お買い物バス」その運転手をしています。

利用される村民の方々と話すのが楽しいですね。
(令和6年5月まで実施)



最寄りの商業施設まで直接送迎してもらえるので、大きな荷物を抱えてバスを乗り継ぐ苦勞が要らず買い物できると好評

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス(野迫川村産業課) sangyou1@vill.nosegawa.nara.jp
(電話番号(野迫川村産業課) 0747-37-2101

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
野くる -nokuru- 野迫川村地域情報発信サークル
<https://www.youtube.com/@--nc5kv>

基本情報



【年 齢】
28歳
【出身地】
長野県川上村
【転出元】
神奈川県川崎市
【前 職】
会社員
【活動時期】
R5.4～R8.3

協力隊に応募したきっかけ

元々、2019年3月まで浜田市にある島根県立大学に在籍していました。当時、サーフィンやスノーボード、ライフセーバーを行うサークルを設立する中で、地域の方々と非常に親しい仲になりました。一旦東京へ就職するも、浜田市の自然と人々が忘れられず移住を決意しました。

今後の抱負・任期後の目標

宿泊業、観光業を中心に、浜田市の自然豊かな環境を活かした体験メニューなども組み合わせて地域の活性化と魅力あるまちづくりを行いたいです。

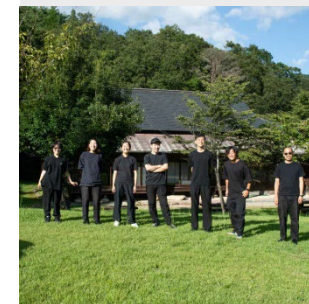
活動内容

●概要

浜田市の後継者不在の事業者を、起業・創業を目指す地域おこし協力隊が事業承継という形で引き継ぎ、浜田市の産業・伝統を維持していく取り組み。

●後継者不在企業の情報収集・訪問

- ・ 県、市が行った後継者不在事業者のアンケートをもとに訪問先のリストアップを行う。
- ・ 後継者のいない事業所を分析し、原因・課題を明らかにする。
- ・ 実際に事業所を訪問し、事業承継に対する課題や想いなどを掘り起こす。
- ・ 後継者が存在する事業所へも訪問を行い、人脈を広げる。



●インターン

- ・ 後継者不在の事業所に実際にインターンとして研修を行い、経営や業務に取り組む。
- ・ 事業者の技術の承継や、隊員の強みを活かした戦略を取り入れ、後継者候補として従事する。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス(個人)) yui.chiikiokoshi@gmail.com
(電話番号(個人)) 080-2398-5857

基本情報



【年 齢】
31歳
【出身地】
熊本県天草市
【転出元】
東京都中野区
【前 職】
システムエンジニア
【活動時期】
R4.4～R7.3

協力隊に応募したきっかけ

地元高校卒業後、進学や就職で故郷を離れたが、就職先の東京にて地元出身者の集まりである「天草元気プロジェクト」の一員に。（関係人口団体）
約7年ほど、東京で天草の知名度を広げるために様々なイベントを実施。
活動を通してふるさとへの想いが醸成され、Uターンを決意。
タイミングよく協力隊の募集があったため、迷わず応募し現在に至る。

今後の抱負・任期後の目標

高校までしか地元におらず、産業分野について無知であったが、この協力隊任期中に多くの事を知ることができた。これまでインプットした情報を元に、地域の課題を解決できるようなまちづくり会社を運営していきたい。
まずはキャッシュを生み出すところから、1歩ずつ始めていき、持続可能な地域となれるように頑張りたい。

活動内容

●起業創業・中小企業支援（R4.4～R5.3）

天草市内の自治体、地場商工団体、地銀で運営されている産業支援拠点センターで1年間勤務。センター長と共に業種問わず、様々な企業や個人の相談を受ける。前職のエンジニア時代で培ったITスキルや先進自治体の情報を提供。同時に、長らく離れていた地元天草の情報収集ができた。



●企業誘致支援（R5.4～）

人口流出の緩和や産業の発展のため、天草市が推進している企業誘致活動。企業派遣研修型地域おこし協力隊員として誘致企業に所属し、コワーキングオフィスの運営を行う傍ら、VR技術を駆使したメタバース体験会や視察の対応を実施している。



●スタートアップ支援（R5.5～）

天草市が運営するスタートアップ支援に特化した相談窓口を運営中。中小企業診断士と共に事業計画の策定や資金繰り相談などに対応している。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））hayato.Watanabe.hw@gmail.com
（電話番号（個人））080-6430-1031

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Facebook（個人））
<https://www.facebook.com/hayato.watanabe2/>

